

M3T-PD308F および M3T-PD30F ご使用上のお願い

PC7501システム用エミュレータデバッガM3T-PD308FおよびM3T-PD30Fの使用上の注意事項を連絡します。

- MRトレースウィンドウおよびMRアナライズウィンドウを使用する際の注意事項

1. 該当製品

M32C/80, M16C/70シリーズ用

M3T-PD308F V.3.20 Release 1

M16C/60, M16C/Tinyシリーズ用

M3T-PD30F V.1.00 Release 1 ~ V.2.20 Release 1

2. 内容

可変ベクタテーブルを奇数番地に配置したプログラムを実行し、MRトレースウィンドウで計測結果を表示した場合、MRトレースウィンドウおよびMRアナライズウィンドウにシステムコール発行履歴が表示されず、その他の情報も不正な計測結果が表示されます。

3. 回避策

MRトレースウィンドウおよびMRアナライズウィンドウを使用する場合は、可変ベクタテーブルを偶数番地に配置してください。

4. 恒久対策

本内容は、次期バージョンアップで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

